

令和元年度 第2回教科用図書北部採択地区協議会 議事録

令和元年7月9日(火) 9:00~16:30
令和元年7月10日(水) 9:00~12:30
日向市中央公民館2階 第4研修室

【出席者】

延岡市教育長	澤野 幸司		
日向市教育長	今村 卓也	日向市教育委員代表	黒木 知子
門川町教育長	新原 とも子	門川町教育委員代表	久保 廣良
諸塚村教育長	甲斐 誠	諸塚村教育委員代表	佐々木 淳一
椎葉村教育長	甲斐 眞后	椎葉村教育委員代表	尾前 賢了
美郷町教育長	大坪 隆昭	美郷町教育委員代表	東 久美
高千穂町教育長	濱田 琢一	高千穂町教育委員代表	工藤 謙一
日之影町教育長	橋本 範憲	日之影町教育委員代表	押方 光徳
五ヶ瀬町教育長	猪野 貴一	五ヶ瀬町教育委員代表	寺本 俊文
保護者代表	延岡市PTA連絡協議会	会長	清島 貴光
	日向市PTA協議会	会長	椎葉 哲男
	東臼杵郡PTA協議会	会長	岡村 亮二
	西臼杵郡PTA連絡協議会	会長	興梠 裕樹

※ 延岡市教育委員代表は都合により欠席。(22名の委員のうち21名が出席)

【役員】

会長 : 今村 卓也 (日向市)
副会長 : 黒木 知子 (日向市)
監事 : 澤野 幸司 (延岡市)

【議事録作成者】 日向市教育委員会 学校教育課 課長補佐 渡 勝

令和元年 8月30日

議事録に記載された内容が事実と相違ないことを証明する。

教科用図書北部採択地区協議会 会長

今村 卓也 

教科用図書北部採択地区協議会 副会長

黒木 知子 

1 開会行事

【事務局より】

- 本協議会委員 22 名のうち、本日 21 名参加。規約により会議が成立することを確認。
- 配布資料等の確認。研究資料は 9 月 1 日公開のため、会議終了後回収することを確認。

【会長あいさつ】

- 専門委員の調査研究の紹介。
- 協議会各委員による見本本を持ち帰っての調査研究へのお礼。

【事務局より】

- 情報公開について（本日の会議は非公開。議事録は 9 月 1 日に公開するが委員の実名は出さない。研究資料等も 9 月 1 日に公開）
- 日程・会議の進め方の確認。
- 会議の録音についての確認。

2 議事

（1）「令和 2 年度使用中学校教科用図書（道徳以外）の選定について」

【事務局より】

- 文科省の通知により「平成 30 年度検定において新たな図書の申請がなかったため、令和 2 年度使用教科用図書については、過去 4 年間の実績を踏まえた採択を行うことができること」を再確認。
- 事前の 9 市町村の調査結果を報告

【質疑応答】

なし

【協議】

会 長 何か意見はあるか。

委 員 なし。（全員）

会 長 それでは令和 2 年度使用中学校教科用図書（道徳以外）については、これまで市町村で採択されてきた教科用図書について、本地区において選定することとする。

【会長より】

- 議事の進め方を確認したい。この後、専門委員代表の校長から、教科ごとにそれぞれ出版者の見本本の調査研究の結果を報告してもらう。

【専門委員代表より】

- 4 名の専門委員による各者の見本本の調査研究結果を報告する。県教育委員会から示された採択の基準や本協議会から示された調査研究の観点に基づいて厳正かつ適正に調査研究を行った。
- 教科ごとの、それぞれの出版者について、特徴的な部分や、本地区独自の「地域課題への対応」という観点を中心に調査研究の結果を説明する。
(各者の見本本を実物投影機で投影しながら説明)

<音楽>

【質疑応答】

- 委員 両者の教科書の中で、同じ教材「こいのぼり」があった。こいのぼりの歌については、教出は我々の住んでいる地域に似たような風景の中にこいのぼりが大きな写真で示してあり、非常にインパクトのあるものになっている。ただそこには、こいのぼりの中にある「いらか」の説明しかない。教芸の方は、具体的な言葉の説明が出てきて子どもたちがその歌詞の中の言葉の意味を理解できるような補足がある。他の学年の中にも、そのような配慮がなされているのか。
- 回答 教出は見開きの写真の裏が楽譜になっていて、その下の方に「いらか」や「たちばな」などの説明があり、こういうものでイメージを広げていくことができるようになっていて。他の教材についても、両者とも写真と説明が適切に掲載されている。
- 委員 教出は、吹き出しがあり、みんなで音楽を学ぼうという取り組みができるようになっている。これは、少人数であってもこのような流れでできるのか。
- 回答 吹き出しプラス「子どもの言葉」で補いながら、対話風の内容になっているので、少人数であっても、教科書に出てきている子どもの言葉について、「じゃあ、あなただったらどう思いますか。」というような問いかけをすることにより、対話的な学習はできるようになっている。
- 会長 宮崎県や北部地区について、取り上げてある教材というのは、どのような取り上げ方になっているのか。
- 回答 教出は4、5年生のところに高千穂の夜神楽とひえつき節が写真で取り上げられている。教芸については4年で、高千穂夜神楽について、5年生で、かりぼし切り歌の歌い出しの部分について実際に体験したり、刈干し切り歌とソーラン節を聞き比べてみたりという形で取り上げられている。
- 委員 両方ともQRコードがあるが、例えばどのような情報が入っているのか？
- 回答 教出の方は、鍵盤が映り、鍵盤の練習をする際に、どの鍵盤を押すのかという動画があったり、作者が意図しているイメージを、子どもたちへのメッセージとして「私が作者です。このようなイメージで作りましたよ。」といったような動画が流れたりする。教芸の方は鑑賞の部分オーケストラが入ってくるが、交響楽団が写真で掲載されているが、この交響楽団のウェブサイトにつながるようになっている。
- 会長 今、実際にやっている委員もおられるが、すぐにつながるようになっているので、他の方も実際にやってみられるとよい。

【協議・採択】

- 会長 採択のための協議に入りたい。積極的なご意見をお願いしたい。
- 委員 県北の人間として、両者ともにかりぼし切り歌や神楽が取り上げられているのはうれしい。教出の方が、こいのぼりやさくらの写真や絵が大きく示してあり、子どもたちにとってインパクトがありイメージしやすく、わかりやすい。後ろの方には、「いらか」「たちばな」など説明がしっかりとありよいものではないかと思う。
- 委員 ワールドワイドな内容が載っているのは教出。教出の方が使いやすいと感じた。

委員 見易さという視点で見たときに、楽譜が大きく見やすいのは教出。子どもたちが鍵盤の練習をする際に、見やすく取り組みやすいと考える。また、指導もしやすいのではないか。

選曲の視点では、日向市の多くの学校の校歌を作詞している野口雨情や北原白秋が多いのは教出。先生方が指導しやすいのではないか？

委員 2年生を比べてみると、教出は鍵盤ハーモニカが写真で大きく出ている。教芸は1年生で鍵盤ハーモニカの写真は終わってしまっている。あと、選曲も教出の方がよい。

委員 音楽の教科書は、これを使って歌をうまく歌えるようになるとか楽器がうまくなるという視点が大切。使いやすさや教えやすさを見ると教出の方がいい。

会長 意見をまとめると、教出の方が、教えやすさ、わかりやすさ、地域性という点で使いやすいと考えるという意見がたくさんあった。最終の決を採りたい。教芸がよいという意見が少なかったが、教出を選定するという事によろしいか。

委員 異議なし

会長 それでは、北部採択地区としては、教出を選定することとする。

<社会>

【質疑応答】

- 委員 宮崎県について掲載されているところは？
- 回答 例えば東書の5年生－P 1 2 0には宮崎市の写真、P 7 4には宮崎県についての記事。教出の5年生－P 5 8にはキュウリ、P 2 4 6にはピーマン、キュウリと載っている。日文の4年生－P 9 8、9 9には新燃岳について、高原町のことが載っている。他にもいろいろある。
- 委員 今の質問に関連してだが、他にも文教出版社の5年生の1 0 4ページなど、宮崎県の畜産業や口蹄疫などを大きく取り上げているのではないか？
- 委員 関連して、日本文教出版社は4年でも5年でも、宮崎のことが大きく取り上げられていたような気がするが？
- 回答 確かに大きく取り上げられていると思うが、他の教科書でも、例えば東書などでも6年生では小村寿太郎などが取り上げられている。
- 委員 東書は歴史、公民が分かれているのは？単元配列上のことか？何か意味があるのか？
- 回答 分かれていることについては大きな意味はないと考える。持っていく教科書の重さが減るということもあるのではないかと思う。
- 委員 字体はそれぞれだが、どういった違いがあるのか？
- 回答 例えば東書には、ユニバーサルフォントがつかわれている等の記載があるが、フォントでの違いは特には感じられない。
- 委員 先ほどの宮崎県についての記述だが、日文の5年生には宮崎県のこと非常に大きく取り上げられている。目次では「せんたく」とされているが、各者の選択の扱いや位置づけに何か違いや意味はあるのか？
- 回答 各者違うが、それぞれの特色だととらえている。指導上のそこまでの違いはないと思われる。特に大きな意味はないと思う。
- 委員 質問というわけではないが、宮崎県についての記述は、教出が林業についての記述が9ページにわたっており多い。杉の生産量日本一の宮崎としてはありがたい。
- 委員 社会がはじまる3年生では、市についての記述は、どの発行者も姫路市、横浜市など都会である。最も近いところでも福岡市である。日向市からは遠いのではないか？
- 回答 近いところの学習を通して、視野を広げることに繋がると思う。一番近いところが九州内という状況である。
- 会長 今説明があったが、基本的には、3年生については私たちの市町村についての学習となるので、それぞれの市町村で作成されている副読本を使うことになっており、4年生については県についての学習になるので、県が作成している副読本を使用しているので、教科書は他の市町村や県の様子を参考として活用している状況にある。
- 委員 人権・同和教育の視点では、各者の特徴はどうだったか？
- 回答 6年生での記述が見られるが、3者ともほぼ同様の記述となっている。

【協議・採択】

- 委員 東書の教科書が上下分冊に分かれている。歴史は特に詳しく丁寧にまとめられており、学びやすいと感じる。しかし郷土については、日文がP104～の部分で、畜産業の盛んな宮崎県という紹介で、単元として6ページにわたって取り扱っている。郷土についての深い学びができるように感じる。この二者で迷っている。
- 委員 東書のP114では、中山間地区の農業が取り上げられている。北部地区としては中山間地域も多く、このような取り扱いの教科書がいいのではないかと思う。
- 委員 日文が宮崎を取り上げているのがいいなと思う。宮崎の子どもたちには宮崎のことをしっかりと学べる教科書がいいと思う。先ほど目次の選択の話があったが、日文は選択教材もたくさんあり、その地域にあった教材を選んで指導できる。東書の6年は政治経済国際と歴史の、上下2冊に別れていたり、5年生も上下に分かれたりしており、学ぶ時に関連を持たせたり、振り返ったりする時に教科書がなくて学びにくいのではないかと感じる。
- 委員 教科書を持つ子どもたちの負担を考えると、分かれている東書が軽くなるのではないか。
- 委員 宮崎についての記述の話があっているが、宮崎についての記述は3者で大きく異なっているのか？宮崎に関する記述の状況が分かれば示してほしい。
- 事務局 宮崎が取り上げられている部分について報告する。宮崎県に関する写真は、東書は4か所、教出は0、日文が23か所取り上げられている。図や表などのその他の資料としては、東書が7か所、教出は2か所、日文が11か所取り上げられている。また、単元として取り扱っているところは日文だけで、6ページの記載がある。
- 委員 現在使用している教科書はどこなのか？
- 事務局 東京書籍である。
- 委員 私たちの地域については、3、4年生は市町村や県の副読本で勉強する。今の数字で、それを除いた数はわかるか？
- 事務局 単元としての記述は日文の5年生だけなので、その部分は分かるが、5・6年生の教科書についての、本県に関係する図・表や写真の数は把握できていない。
- 委員 地図帳と連動することを考えると、同じ出版者として東書がいいのではないか。
- 委員 地図帳と教科書を同じにする必要があるのかどうかは、意見の分かれるところではないか。
- 委員 戦後の歴史について自分なりに調べてみた。各者、間違いも多いと感じたが、より具体的で真実に近い記述がなされているのは、自分としては東書ではないかと感じた。
- 委員 東書は、5年生も6年生も分冊になっている。特に6年生では歴史や政治経済などの両方が関連した授業も増えてくるので、一緒の方がいいような時もあるのではないか。
- 委員 質疑のところでは林業の話があった。地域に根ざした教材について学習するのは大事な視点である。しかし林業についての記述は高知県の資料である。その点日文

の畜産業は宮崎県の教材であり、口蹄疫のこと、そこからの復興、そして宮崎牛が日本一になったことが、教材として具体的に取り上げられている。宮崎県としては、このように宮崎のことをたくさん取り上げている教科書で、子どもたちに学習させる方がいいのではないか。

会 長 意見としては宮崎の教材を取り上げている日文がいいという意見が多いように感じるが、分冊で教えやすい東書がいいという意見も多く出されている。教出に対する意見はないが、他に意見はないか。

なければ時間も経過しているので、このあたりで多数決で結論を出したい。

委 員 例えば北部のように、複式学級が多い地域で学習を進めるとすると、やはり情報量があまりにも多いのは逆に使いにくいと考える。学習する時には、資料集など、他の資料も使用するというのを考え合わせると、教科書は精選された内容の方がいいのではないかと考える。したがって、分冊となっている東書の方がいいと思う。

会 長 他に意見はないか。これまでの意見をまとめると、日文と東書の意見が中心であり、教出についての意見はほとんどなかったように感じたが、東書と日文の二者で多数決としたい。それで良いか？

委 員 異議なし

会 長 では宮崎の教材を多く取り上げている日文を選定する方に賛成の方は挙手を。
(挙手5名)

では、東書を選定するというのに賛成の方は？(挙手15名)

会 長 それでは、北部採択地区としては、東京書籍を選定することとする。

<地図>

【質疑応答】

委員 東書のP8について。このページの取り扱いについて、実際にどのように使うのか？あわせて、子どもたちが地図帳を見たときの色使用の特徴、例えば目に優しいといったようなものについては、東書と帝国にはどのような特徴があるのか。

回答 東書のP7～P8について。町のなかにどのようなもの・施設があって、どのような人がいるのか。大事なことは、町の中に人がいるという情景であって、いろいろな町があるとは思いますが、自分たちの町に置き換えた学びができるのではないかと考える。

それぞれの出版者の色使用の特徴については、東書の方が若干濃くなっており、帝国が明るい印象がある。これが一番大きな特徴であると考えている。

委員 地図帳には東書のものがあり、教科書にも東書があるが、この内容・作りについて、リンクしたもの、社会の教科書と地図帳とは関連した取り扱いがあるのか？

回答 関連しているというか、関連させなければ学習として成立しないということはない。教科書と地図帳の出版者が違った組み合わせを使用しているところもある。一緒でなくとも大丈夫だと考える。

【協議・採択】

委員 地図帳は見易さが重要であると考えている。例えば、帝国のP34、東書のP24の九州地区の地図を見比べてみると、自分の感覚ではあるが、情報の提示の仕方が帝国の方が見やすいと感じる。東書は情報が多すぎて、子どもたちが迷ってしまう。東書P8の見開きの取り扱いについて考えたときに、教科書でもできると思うため、そんなに意味ないような気がする。

委員 折り込みのページがあって、閉じたときに重ならないとか、開きやすいようになどの工夫が東書にはある。

会長 指導するときにはどうか等の意見はないか。

委員 帝国にはQRコードがついていて、スマホやタブレットで読み込むと、クイズやいろいろな産業に関する統計が出てくる。子どもとしては楽しみながら、学びを深めることができるのではと考える。

委員 東書で言うとP83から、帝国はP103から。地図には数字で比べるということも重要であると考えている。東書の方が日本の面積、県の面積、世界の面積等のデータが見やすい。また、東京書籍の教科書であれば、地図も東京書籍の方が学習はやりやすいのではないかと考える。

事務局 専門委員の研究では、社会の教科書と地図帳は関連しない。あくまでも地図帳は資料である。

会長 事務局の説明からも、地図帳をそのまま指導することはない。あくまでも社会科の教科書を指導する際に必要な資料として活用するものということである。

委員 帝国については、地図が三段階に分かれているように思う。これがいいのか悪いのかについては、それぞれの判断があると思うが、自分が受けた感じでは、子どもた

ちが見るときに、迷ったりするのではないかと思う。東書は情報量が多すぎるということはあるかもしれないが、東書の方が見やすいのではないかと思う。QRコードで情報が示されるようになっているが、説明の中でもあったように、デジタルコンテンツの中に、どれだけ情報が分かりやすく入っているかということ考えたときには、日本の都道府県の統計や比べてみよう日本と世界とか、山・川・高さとか、地図帳そのものの中にわかりやすい統計等があったほうがいい。よって東書の方がいい。

委員 3年生・4年生については、地図帳の指導の導入という視点から見ると、東書P7からになっている、帝国も同じようにP7からやっていくことになると思うが、例えば東書のP7からの内容については、3年生は町の勉強なので、本地域の実態に合わないのではないかと考える。記号はどういう記号で地図上に表していくのかという学習を進めて行くには、帝国P7からのように順番に場所を示していき、そして、記号で表していく流れの方が、記号の学習ができ、指導がしやすいのではないかと思う。

会長 そろそろ決を採りたいが。他に意見はないか。

委員 なし。

会長 意見がないようなので、多数決としたい。東書を選定する方に賛成の方は挙手を。
(挙手9名)

では、帝国に賛成の方は？(挙手11名)

それでは、北部採択地区としては、帝国書院を選定することとする。

<国語>

【質疑応答】

- 委員 読解力を養う観点で、長い文書が読みやすく、じっくりと物語を読めるようなものを多く扱っているなど、発行者によって特徴的なものはあったか。
- 回答 どの発行者も長い文章を取り上げられており、発行者によって偏りがあるものではなかった。
- 委員 語彙力について、光村の説明があったが、光村だけが特徴的であったのか。
- 回答 どの発行者も豊かな語彙力を身に着けるための工夫がしてある。
- 委員 主体的な学びについて特徴的なものはあったか。
- 回答 どの発行者も各単元の最初に、その学習でどのような力が身に付くのか記述されており、子どもが主体的に見通しをもって学習ができるようになっている。具体的には、東書4年生下P30、P49などにある。
- 委員 東書と光村は5年生から上下が一緒になっている。合本と分冊、授業を進める上でどちらが利便性がよいのか。
- 回答 ページ数として見ると、上下巻に分かれているとページ数は若干多い。2冊がいいのか1冊がいいのかは一長一短あると思う。
- 会長 読書を勧めるような(本の紹介等)内容については各発行者の取り扱いはどうか？
- 回答 各発行者とも図書室や図書館の利用の仕方について、児童が読みたい本を選ぶ方法等を具体的に紹介したり、読書について児童の興味関心をひくような工夫が見られたりする。また、多くの発行者で必要な情報への辿り着き方や情報を読み取って活用するための方法等の掲載も見られます。
- 委員 挿絵、写真、資料について、各発行者の特色は？
- 回答 各発行者ともそれぞれオリジナリティに富み、工夫がなされている。挿絵、写真等だけではなく、配色等にも工夫があり、これまでの教科書に比べ、子どもたちが親しみやすいものになっているのではないかと感じる。

【協議・採択】

- 委員 観点4の地域への課題対応で考えると、東書だけが未来について子どもたちに考えさせるという要素がある。キャリア教育に関連付けたとき、この要素がよかった。
- 委員 4年生、5年生の物語を重視して読んでみた。光村には、作者の紹介と他の作品の紹介が他の発行者より詳しく載っている。宮崎県は読書県として力を入れているので、光村を推したい。
- 委員 東書がいいと思う。単元のはじめに学習目標が分かりやすく示してあり、子どもたちにもわかりやすい(「つかむ」と明記してある)。ベテランの先生も若手の先生もやりやすいと思う。
- 委員 学図の観点3、読みの負担軽減は、あまりにも子どもたちの手助けをしすぎているように感じる。

- 委員 じっくりと読ませるとか語彙力を見たときに、東書と光村が優れていると感じた。
- 委員 東書と光村で迷う。挿絵が重要ではないかと思う。光村の方が挿絵と写真が工夫されているように感じる。光村の4年生下P88、うなぎの謎についての写真の中に、地元（北部地区を取り上げた内容）のものがあ、個人的に光村がよいと感じた。
- 委員 東書4年生下P49、学図4年生下P60、光村4年生下P30、教出4年生下P24を比較してみたい。「ごんぎつね」は全発行者で取り上げられている。これを読んで、どのように学習を進めていくのかということが書いてあるのがこれらのページである。教出は子どもたちが考えるべきことまでを示してある。学図も学習の手引きで子どもたちが自ら考えるべきことが出てくるが、これぐらいならいいのかなと思う。東書は非常に細かく載っている。ここまで提示してしまうと、子どもたちが自分で自分のイメージをふくまらせにくいと感じる。光村は4段階の視点が出てきて答えに結びつくようなものまでではない。「知る・読む・つなぐ」という展開の仕方が大切だと思う。子どもたちにどこまで考えさせるか、与えるかということを考えてあるのは光村ではないか考える。
- 委員 東書と光村の二つ。子どもたちが読んで考えをまとめていきやすいのは東書。子どもたちに文学的教材のなかで心情等、いろいろなことを感じさせるのは光村の方が優れている。いま、子どもたちに自己肯定感を持たせることが大事なことと言われているが、登場人物の心情に共感して学びを深めていけるのは光村かと思う。
- 委員 「主体的・対話的で深い学び」に少し関連するかもしれないが、光村6年生「やまなし」を取り扱っているように、自然とじっくりと読めるようになっているのは光村ではないか。
- 委員 光村5年生P220、「大造じいさんとガン」の内容に入る前の説明に、山（鹿児島県）のことが紹介してあり、宮崎県としても身近なものとして子どもたちに考えさせることができる設定になっていると思う。
- 会長 今までの議論を見ると、東書か光村の二者についての意見が多いが、その二者で多数決を行ってよいか？
- 委員 異議なし。
- 会長 最終の決を採りたい。東書を選定する方に賛成の方は挙手を。（挙手3名）
では、光村に賛成の方は挙手を。（挙手17名）
それでは、北部採択地区としては、光村を選定することとする。

<書写>

【質疑応答】

- 委員 国語は4者であり、書写は5者ということであるが、関連をもって学ぶことができるような流れになっているのか。
- 回答 小学校の国語の中に書写は含まれるが、例えば国語と書写の発行者が違って、特に支障はないと考える。どの発行者も学習指導要領に則り、小学校の国語と書写を、それぞれ作っているのだから、支障はないと考える。
- 委員 新しく出てくる漢字の順番が、国語の教科書と同じ順番で出てくるように反映されているので、同じ発行者の場合は、習っていないとか順番が違うなどということはないが、発行者が異なる場合は、少し不都合が出てくるというようなことを聞いたことがあるが、その点についてはいかがか。
- 回答 今、ご指摘があったように、多少は学年によって、そのような点が出てくることもあるが、しかし、小学校6年間全体を見ると、学習指導要領に示されている指導事項、漢字については、しっかりと押さえられる形になっているので、発行者が異なっても問題はないと考える。
- 委員 書写についての説明の際にも、未知の状況に対応できる力というのがよく出てきたが、主体的・多様な学びと同等に扱われている。未知の状況に対応できる力というのは、必ずしも入っておかなくてもよいのか、それとも、必ず入っておかないといけないのか。
- 回答 学習指導要領に示されている「学びに向かう力」は、元来、教科書を使った学びだけで収束するものではなく、新しいもの、日常生活の中で触れる文字などとの関係があり、書写の中でも当然そのようなものに触れる機会がある。未知のものに対応できるような学習が教科書でできるような工夫がなされていることが望ましいと考える。
- 委員 各発行者によって、硬筆と毛筆を扱う分量というか、割合については、その取りあつかいに差はあるか。
- 回答 各発行者による差はない。学習動要領に則って作成された、検定を受けた教科書である。

【協議・採択】

- 委員 国語が光村であれば、先ほど、質問した際には、発行者が異なっても問題はないということであったが、やはり書写も同じ発行者である光村がよいのではないかと考える。
- 委員 東書と光村を見比べてみた。文字数が少ないというか、子どもたちにとって情報が厳選されているのは光村ではないかと思った。東書はあまりにも説明が多すぎて、1年生などは、このようにたくさん子どもたちに読ませることは、無理があるのではないかと思う。P7を見てみると、ワークシートのように、練習を何回も何回もさせる部分があるが、教科書には必要ないのではないか。毛筆のところなどは、光村は大きくしっかりと書かれており、子どもたちはこれをお手本にしながら書いて

- いくことができ、そのような意味では、光村はよく考えられているように感じた。
- 委員 1年生からはじめると考えたときに、鉛筆の持ち方などが丁寧に書いてあるのいいのかなと思った。光村の1年生の教科書を見ると、最初の鉛筆の持ち方などがシンプルであり、教えやすいのではないかと感じた。特に、姿勢であり、1年生のP6にあるような、「つまんで持ち上げる」などといったような部分がシンプルでわかりやすいし、習字をはじめたときに、打ち込みなどが赤く示されているので、わかりやすい工夫がしてあると思った。
- 会長 今のところ光村についての意見しか出てこないが、他に意見はないか？
- 委員 なし。
- 会長 それでは、光村を採択してよろしいか？
- 委員 異議なし。
- それでは、北部採択地区としては、光村を選定することとする。

<算数>

【質疑応答】:

委員 ノートの取らせ方について工夫があるか？

回答 各発行者ともノート指導について掲載している。例えば、大日本図書2年生、P8、9、「算数学びナビ」では、実際のノートの様式を示し、具体的なノートの取らせ方を掲載している。東書では、5年生上P4、5、学びのとびらというタイトル、「算数マイノートを作ろう」で、算数の学習では、前に学習したことを使うため、ノートに学習の記録を残して、学習の振り返りや新しい問題の解決などに生かすよう、具体的なノートの作り方、活用の仕方を掲載している。

【協議・採択】

委員 日文5年生上P116、ソフトボール投げの問題、文字と絵の色がかぶって見づらい。このページだけかと思って見てみたが、同じような色合いを多様しており、見づらいのではないか。

会長 薄い緑色の文字が見づらいのではないか、というご意見だが、他にあるか。

委員 学図は上下が分かれているが、似たような表紙で間違いそう。またキャラクターが沢山出てくるが、キャラクターに頼りすぎると、逆に思考を妨げるような気がする。

会長 表紙が似ていて間違えるのではないか、という意見である。このように様々な角度から多くの意見を出していただければありがたい。

委員 啓林館を是非押したい。授業を進める上で、各時間の「めあて」と「まとめ」がそれぞれ例示してある。どのような先生でも授業しやすいのでは。

委員 「めあて」と「まとめ」がしっかり位置付けられている啓林館は、問題解決的な学習を進めるのにもいいのではないかと思う。

委員 私も啓林館がいいと思う。子どもたちのノートの取り方が示してあるとともに、最初の方に板書例があり、「めあて」と「まとめ」がしっかり例示してあるので、やすいのでは。

委員 啓林館にはQRコードが多く取り入れられている。これからICT教育もますます取り入れられてくると思うので、とてもいいと思う。

委員 自分は数学が苦手だった。子どもに教えるときも困っていた。「教科書を見ればわかるじゃないか」と見てみたら、正直わかりにくかった。苦手な自分的には大日本図書が分かりやすいかなと感じた。

会長 今の教科書は少し解き方がわかりにくいのではないか、大日本図書がわかりやすいのではないか、というご意見だが、他にあるか。

委員 新学習指導要領により、小学校でプログラミング教育が必修となるが、プログラミング教育を扱ったページを比較してみると、ICT環境があまり整っていない中でもプログラミング的思考を学ぶことができるのは啓林館の取り扱いが一番分かりやすいと思った。

会 長 現在のところ、使いにくさの視点で二者、使いやすいという視点で二者についての意見が出ている。また現行の啓林館に対する意見が多くだされているように思うが、他に意見はないか。

会 長 それでは、現在までの議論をまとめると、おおむね現行の啓林館を使いたいという意見が多いと考えるが、それでよろしいか？

委 員 異議なし。

それでは、北部採択地区としては、啓林館を選定することとする。

<理科>

【質疑応答】

- 委員 すべての教科書において、子ども同士の対話を通して、主体的な学びを深めたり、課題を見つけたり、実際に観察したりする内容になっているようであるが、各発行者で大きな違いはあるか。
- 回答 取り扱っているボリュームの差はあると思う。ただ、どの発行者においても、普段の授業の中で、様々な意見をもとに課題を解決していくという道筋を取り入れている。
- 委員 高学年に理科専科の先生がいない学校を考えたとき、薬品を使った授業など、子どもの安全面は特に大切である。安全面について特徴的なところはないか。
- 回答 具体例を示して説明する。東書5年生P113には、保護メガネを取り扱っているところが載っている。他の発行者においても、子どもたちが見て分かるように、安全面に配慮するところは、マークをつけたり、強調したりするなどして、理科の実験の最中、子どもたちが留意事項に注意できるよう、また、けが等が起こらないような工夫がなされている。マークについては、各発行者が工夫したものを使っていた。
- 委員 5年生の教科書において、最初に学ぶものが東京書籍では、雲で「天気」から入っている。一方、啓林館は「植物」から入っている。指導する上で、どちらの方が学校としては指導しやすいのか。
- 委員 東京書籍には、1番後ろに目次がある。天気の変化から入っていて、「植物の発芽と成長」「魚の誕生」となっている。教育出版の目次を見ると、「天気の変化」から入り、「植物の発芽と成長」、「メダカの誕生」、「花のつくり」「台風」という順で東京書籍と同じような流れである。一方、啓林館では、「花のつくり」が最初に来て、「植物の発芽と成長」「メダカの誕生」「ひとの誕生」「台風」、そして「夏休み前の自由研究」という流れになっている。このように、各発行者で順番が少しずつ違う。その違いというのは、意味があるのか。どちらが教えやすいか。目次を見ていて疑問を感じた。
- 回答 理科専科の先生によると、指導する側からすると、大きく自然に左右されると、授業がやりにくいこともある。例えば、実験や観察の際、あまりにも雨の日が続いたりとか、晴れの日が多かったりとか、そうなると指導しにくいという学校の先生方の声はあった。おそらく、そのような声なども大切にしながら、各発行者で単元配列の工夫をしていると思う。
- 委員 教育出版の災害に関する内容については、よく分かったが、その他の発行者について、どうか。
- 回答 いずれの教科書においても、災害に関する内容は取り扱われている。そして、そのボリュームについては、各発行者において差はある。災害に関することは、北部地区の実態を考えたときに、とてもかわりのある問題であると考えている。いずれの教科書会社においても、しっかりと扱われている。

【協議・採択】

- 委員 どの発行者の教科書も、問題解決的な学習ができるようになってきているようだ。特に啓林館においては、ページの左側の方に、旗みたいなのがあり、予想があったり、結果があったりして流れが全部示してあるので、子どもにとって、どのように学習が進んでいくのかが明確であり、学びやすいかなと思う。
- 委員 問題解決的な学習がしやすいということだと感じた。
- 委員 私も啓林館がいいのではという意見である。理科においては、実験・観察が基本である。理科専科が少ないという大きな問題がある。実験方法などの順番が書かれてあることがまず、第一の理由。第二は、実験に必要なものや注意事項が大きく明記してあるという理由である。このような理由から、実験などをする際、理科専科ではない先生も十分活用できると思う。啓林館がいいと考える。
- 委員 最初に、各教科書を見たとき、インパクトがあるというか、自然の事象に興味・関心を持たせるようなつくりや写真掲載は、東京書籍かなと感じた。ただし、理科専科が配置されていない学校のことを考えると、子どもたちの問題解決的な学習につなげていくつくりになっているのは、啓林館がよいと感じた。
- 委員 目次の設定についてだか、東京書籍だけが巻末にある。後は、最初の方にある。カリキュラムは巻頭にあるべきと思う。見た感じ、やはり啓林館が、目次の内容も分かりやすく、まとめてあると感じる。
- 委員 東京書籍もはじめに、「計画してみよう」というのがあるが、全体の流れの目次ではない。
- 委員 先ほど単元配列の話があったが、例えば「台風」などの扱いも、夏休み前と後に分かれたりしている。宮崎県で学ぶ、北部地区で学ぶことを考えると、6～7月に台風について学習できる配列となっている。啓林館がいいのでは。
- 委員 東京書籍5年生の最後、赤ちゃんがおなかの中にある大きな絵があるが、この絵に非常に感銘を受けた。こんなに大きく命の大切さについて取り上げている。命の重さがよく伝わる。子どもたちが学習する中で、このように、実物大の大きさの赤ちゃんが、お腹の中に入っていることが一目で分かるようになっていく。東京書籍の教科書には、インパクトがある。
- 委員 他の発行者の教科書と比較して、啓林館は問題提起が分かりやすい。写真も大きく、先生方も分かりやすいと思う。先生方も教えやすいのではないかなと思う。
- 委員 啓林館が見やすいという意見である。
- 委員 プログラミング教育については、啓林館が分かりやすく、一番授業を進めやすいと思う。
- 委員 大日本図書の5年生P25に、「植物の発芽と成長」について書いてあるが、P34には「種子の発芽にはどのような『養分』が必要ですか？」と「養分」という答えまで書いてありよくないと思う。理科は、「なぜだろう？」という不思議や疑問が大切であり、考えて答えを導き出すことが重要である。また、教材の配列も大切である。
- 会長 そろそろ決を採りたい、啓林館という意見が多かった。東京書籍なども、いいところがあるという意見もあったが、現行どおり啓林館でよろしいか。
- 委員 異議なし。
それでは、北部採択地区としては、啓林館を選定することとする。

<生活>

【質疑応答】

- 委員 小学校1年生ともなると活動範囲も広がるので、ある意味キャリア教育のスタートともなるのではないかと考える。そこで地域とのつながりについてという観点で見たときに、特徴的なものはあるか。
- 回答 どの出版者とも、地域の高齢者、地域でお祭りなどに取り組んでいる団体とのつながりをもたせるような描写が見て取れる。そのような部分を活用して、自分の住む地域との連携を模索するようなつくりになっている。
- 委員 生活科は「きづき」が大事だと思う。そこで、研究の中で、「きづく」ための手立て、例えば、写真やイラスト、説明などが過剰であるのではないか、あるいは少なすぎるのではないかという意見はなかったか。
- 回答 イラスト等の内容によっては、子どもたちが「きづき」過ぎるのではないかということについても、議論の中ではでた。しかし、子どもたちの中には、様々な特性のある子どもたちもいるので、それらの子どもたちも含めて、みんながきづくことも大切である。そして、みんなのきづき以上に、「きづくこと」も「きづき」の一つであり、大切なことと考える。中には、イラストのみできづくような子どももいるのではないかということもあり、各者ともきづきに向かわせるイラストや写真が工夫してあり、優しいイラストや写真などが多いという印象を受けた。
- 委員 生活科の趣旨等を考えたときに、教科書を見て知識を得ることよりも、教科書にある内容を導入時に見て、「このようにしてやってみたい」、「これはどのようになっているのだろう」など、そういった、子どもたちを、学びに誘うような学習のあり方、教科書の使い方が、やりながら考えていくという中で、子どもたちの「きづき」を引き出すためには、よいのではないかと思う。そういった中で、掲載されている写真などで、子どもたちの学ぶ意欲を引き出すための工夫などについて、違いがあれば教えてほしい。
- 回答 調査研究の中において、「これをやりたい。」「調べてみたい。」「聞きに行ってみよう。」「など、そう思わせるようなイラストや写真などが、各者とも非常に多く取り入れられている。しかも大きく、そして、様々な季節が映し出されている写真が多かった。各者とも、子どもたちの「やりたい」「学びたい」という気持ちを大切にするような紙面構成になっていると捉えている。

【協議・採択】

- 委員 東書、学図、啓林館がどちらかと言えば、写真等をうまく使っており、子どもたちの学習意欲「やってみたいという」気持ちを喚起するような構成になっているのではないかと感じた。
- 委員 東書には、はじめの方に、男の子と女の子が登校する場面があり、地域の方々がジャケットを着て見守りをしている写真がある。地域の方々が見守りをしてくださっているというものが、最初に掲載されており、うれしく感じた。また、P90・P91にも地域の方々、おじいちゃんやおばあちゃんとの遊びの姿があり、親近感がわく

と感じた。

事務局 東京書籍には、後ろの方に、外すことができるポケット図鑑というものがある。外してみたい方は、実際に外して見ていただいてもよい。実物大の植物の大きさというものも載っている。各者、便利手帳、工具箱など、あちらこちらに掲載されており、工夫されているように感じた。大日本には、綴じ込み付録にカメラを作ってみようというのものもある。

委員 啓林館には、種から芽が出て、伸びて、実になってというのが上手にできており、分かりやすい。あと、東書も、分かりやすい作りにはなっているが、少しサイズが大きいのではないかと、1年生にとって、探検バッグなどに入るのかなという点についてちょっと心配に思った。

委員 東書と啓林館がよいと思っているので、見極めようと思うが甲乙つけがたい。東書の上巻のP115に「安全に暮らそう」とか「健康に暮らそう」とか「気持ちを伝えよう」とか「あいさつをしよう」とかいったようなコミュニケーションについて大切に扱われている。下巻についても、P119には「きいてみよう」とか「いろんなところを見てみよう」とか、P21には、電話やファックスや電子メールなどの使い方について細かく書かれていて、3年生以降の社会科の学習につながっていくと考えると、東書の方がいろいろな点で考えられているのではないかと思う。

委員 啓林館のスタートブックに、安心安全に関わるものがでていいる。また、生活の中に理科で使う言葉がすでに入ってきている。安心安全という意味で考えると、このような流れで教えていくのはよいと思う。他の出版者については、最後の方に安心安全に関するものがでてきているものもあり、スタート時に出てきている啓林館は、防災という意味からもよいのではないかと思う。

委員 啓林館のQRコードを読み込んで映してみると、夏の行事九州地方に日向ひよっこ夏祭りが出てきて、ちょっと感動した。

会長 意見が出てきたのは、東京書籍、学校図書、啓林館の三者であるが、この三者で決めてよろしいか。

委員 異議なし。

会長 では、最終の決を採りたい。東京書籍に賛成の方は挙手を。(挙手5名)

次に学校図書がよいと思われる方は挙手を。(挙手なし)

次に啓林館がよいと思われる方は挙手を。(挙手15名)

それでは、北部採択地区としては、啓林館を選定することとする。

<図画工作>

【質疑応答】

- 委員 題材構成についてだが、2者とも季節感にあった題材構成が見られるのだろうか？
- 回答 1年～6年までその季節に応じた題材構成をうまく行っている。
- 委員 表紙についてだが、開隆堂はわくわくするような、学年によって子どもたちに印象的なことばだが、日文のほうは図画工作の上のことばがあるが、委員の中で表紙のことで意見が出ていたら教えてほしい。
- 回答 開隆堂については、全学年を通しての大きなテーマ、自分の考えや感じ方を大切にするなど、発達段階に応じて、言葉を使っている。日文は、低・中・高、学習指導要領にある言葉を使っている。どちらにしても、発達段階に応じた言葉を使用している。
- 委員 絵を鑑賞する、鑑賞について、特徴的なことはないか？
- 委員 関連して、鑑賞教材については、どうなっているか？
- 回答 2者を比較するとページ数に50ページほど差がある。開隆堂は全ページが348ページ、日文は398ページ。それぞれ学年で割ってみると、日文の方が1学年、8～9ページ多い。また、日文のほうが絵画や作品の写真が多く、約80ページある。しかし、開隆堂は厳選されたものとなっている。
- 会長 教材の配列の順番は違うと思うが、扱っている内容はどちらも同じようなものなのか、例えば、焼き物とか、版画とかあると思うが、その内容の割合は、同じようなものか？
- 回答 造形遊び、絵、立体、工作、鑑賞とあるが、造形遊びについては、日文のほう若干多くなっている。絵については、開隆堂のほうが多くなっている。立体については、日文が多くなっている。工作は開隆堂が多くなっている。題材数について、開隆堂、日文それぞれで多い少ないの差があるが、全体的には題材数は日文の方が若干多い傾向がある。

【協議・採択】

- 委員 目次を開くと、開隆堂は目次を写真にただけで、開隆堂が写真を使いすぎてページがもったいない。
- 委員 小規模校だと、いろんな子どもの作品がないので、発想が固定されがち。そういう意味では、例がたくさん載っており、参考になるので、日文がよい。
- 委員 低学年のことを考えると、日文は単元配列を交互にしている（同じものを続けて作るのではなく）、興味が高まっていくのではないかと、造形活動も表現が上手にできなくても、多様なこの配列のほうが良いのではないかと。しかし、延岡市としては、のぼりざるが取り上げられている開隆堂もよい。
- 委員 表紙のタイトルが図画工作。例えば、開隆堂はペンキの使い方、日文は墨絵とか。工作なのだから道具の使い方などをもっと取り上げるべきではないだろうか。日文のほう若干多いように思う。
- 委員 タイトルの使い方が、日文はそのまま図画工作だが、開隆堂の方が詞的でよい。ま

た、日文よりも、開隆堂の方が一流の画家等の作品が載っているのので、開隆堂の方がよいと思う。

委員 美術館がないという環境の中で、本物を見るというのが、なかなかないので、開隆堂の5・6年生下のP30、上のP6、7など、鑑賞教材として扱いやすく、開隆堂の方がよいのではないかと。日文の方が多いが、扱い方は開隆堂の方が丁寧に扱っているような気がする。

事務局 作家作品数は開隆堂が39点、日文が67点である。

委員 1・2年生の泥遊びのところ。目標は日文の方が分かりやすい。色水遊びなど楽しそうなのが多いのは日文の方ではないか。日文のP52の「すきまちゃんのすきなすきま」など、楽しそうだと、子どもたちが作って遊ぶことを考えると、日文が良いと思う。

委員 日文の方がいい。学習のめあてがしっかりと明記してある。どのような道具を使うのかが絵で示してあり、小学校低学年では、非常に分かりやすいのではないかと。

会長 そろそろ決を採りたいが、他に意見はないか。

委員 なし。

会長 では多数決を採る。開隆堂を選定する方に賛成の方は挙手を。(挙手6名)

次に、日文に賛成の方は？(挙手14名)

それでは、北部採択地区としては、日文を選定することとする。

<家庭>

【質疑応答】

委員 二つの発行者で、一つ違うところは、開隆堂にはQRコードがあり、ICTを使って、別の資料が提供できるという点があると思った。家庭科の学習において、教科書研究を進める中で、ICT活用などについて専門委員の中でどのような意見があったか。

回答 ICTを活用した学習の対応について、東書では、P5にQRコードが記載されているページが紹介してある。P17、18などにDマークが表示してあり、そこにあるQRコードを読み取れば、実習の手順を示した動画が見られるようになっている。開隆堂では、実習のページの右上にQRコードが表示されており、例えばP7、P11など、QRコードを読み取れば実習の手順を示した動画が見られるようになっている。専門委員の中でも、QRコードを読み込めば、瞬時にミシンの使い方や針の使い方などが、多くの実習の手順が見られるなど、大変有効な資料であるとの意見が出ていた。

委員 家庭科は、これから子どもたちが生きていく時の力の基本となるものだと思うので、どの子にも身に着けさせなければいけないと考える。開隆堂には、P132に左利きの子への配慮がある。それを含めて、これから外国からの子どもや文化の違う所からの子どもが日本で生活する中で、身に付けなければならない力を育てるのが家庭科だと思うが、どの子にもという配慮が、どういう点であったか。

回答 特別支援教育の観点から、東書は、色や形など、P79にあるような線の種類を変えて、読みやすくしたグラフなどのカラーバリアフリーや、字形を判別しやすく、読み間違えにくいという特徴のあるユニバーサルデザイン教科書体を使用している。誰もが見やすい表記になっている。また、学習の進め方がパターン化されており、P40のように児童が見通しをもって学習に取り組めるような構成になっている。また、P135のように実物大の作業写真で、イメージをつかみやすい紙面もある。

開隆堂は、ユニバーサルデザインフォントや見やすい色使いなどの工夫、分の意味がつかみやすいように、一つの単語が行をまたがないような文章の工夫がされている。支援の必要な児童が学習上の負担を感じることなく学べるようになっている。また、実習や製作などの手順は、大きく、すべて横流れでのデザインで統一されているので、子どもたちが見通しをもって取り組めるようなレイアウトになっている。その例は、P50、51にある。

委員 家庭科での学習は、これまで4年生までに学んできた学習、さらには、5、6年生で学習する他教科との関連が非常に重要になると考えるが、二つの発行者とも他教科との関連について、記載されているように思うが、専門委員の中で、話題になったものがあったか。

回答 教科の関連でいえば、いろいろな地域の行事や伝統行事ということで、社会科とか生活科とか総合的な学習の時間との関連が記載されている。東書のP115の「生活を変えるチャンス」で、わが家のおせち作りに挑戦ということで、地域の伝統食

事のことを取り上げて、いろいろな地域のことにつなげていけるようなきっかけ作りができるような工夫が見られる。また、開隆堂では、地域に目を向けるという観点で、P 5 7 のチャレンジコーナーで、各地の味噌や味噌料理が掲載されており、様々な地域に目を向け社会科の学習につながるような工夫が見られる。

委員 地域とのという観点では、開隆堂では、例えば、P 5 7、P 7 5、P 1 1 9、P 1 3 1 など、いろいろな地域に目を向けるようなページがあるが、東書にも同じぐらい、そのようなページがあるのか。

回答 東書にも、いろいろな地域に目を向けるページがある。

委員 東書では、P 1 1 0 のように調理するときの工夫の欄で、環境についての記述があるが、開隆堂にもそのような記載はあるか？

回答 開隆堂については、P 8 7 など環境マークやキャラクターによる環境教育の視点を取り入れている。環境保全に寄与する態度を、キャラクター等を通して身に付けられるような工夫が見られる。

【協議・採択】

委員 開隆堂は、すごい数のQRコードがあると思った。

委員 東書にも、最後の方に、左利きの子どもへの配慮のページがある。

委員 開隆堂の方が、地域のおやつとか地域のことが多く、食育のことを考えると、地域の食べ物を知るということは大事なことだと思った。

委員 開隆堂の方がP 1 7 に片付けについて、詳しく記載されている。

委員 東書の方が、料理の種類が多くて、説明もよく書かれている。教える先生方も、細かく教科書に書かれている方が指導しやすいのではないかと思った。

委員 開隆堂がいいと思う。授業が終わった後に振り返るということ、生活に活かそうという部分が非常に大事だと考える。学習したことをどのように生かそうと考えるかということがしっかり明記されていることがよいと思う。

委員 家族の団らんというページがある。東書P 5 8、開隆堂P 7 2。開隆堂には白玉団子の作り方が記載されており、小6の息子が以前、白玉団子を作ってくれた。生活に生かされていると感じた。

委員 家庭科は、他教科や家庭生活につながるような指導を行っていかねばならないと考える。そういう点で見たときに、開隆堂の方が、目次の部分に、これまでの学習を家庭科につなげようということが記載されており、他教科と関連づけた指導をしようという感覚をもって授業を行うことは、開隆堂の方がしやすいと思う。東書P 1 2 2、開隆堂P 1 1 0を見ると、家庭科の学習を通して生活にどういかしていくかという点で開隆堂の方がよいと考える。

会長 では、多数決を採る。東書を選定する方に賛成の方は挙手を。(挙手1名)、次に開隆堂に賛成の方は？(挙手19名)

それでは、北部採択地区としては、開隆堂を選定することとする。

<保健>

【質疑応答】

委員 学研の教科書で、性教育に関する取り扱いで特徴的なものは？

回答 第4学年の「体の発育と発達」について、体の発育・発達については、個人差があるということをこれまでも掲載されていたが、体の変化だけではなく、異性への関心が芽生えるなどの心の変化にも焦点をあてて掲載している。この点については、どの発行者も掲載している。

委員 食物アレルギーについて、どこも載っていないような気がするが？

回答 例えば、食物アレルギーの記載は、学研のP45にある。その他、病気に関する内容の中で取り扱うことは可能だと考える。

委員 犯罪被害に関する内容で、インターネットでの利用に関して、発行者で取扱いに軽重はあるか？

回答 例えば、光文のP34をみると、インターネット等の扱いや犯罪被害についての扱いがある。このように、どの発行者も取り扱っている。また、地域と関連づけて犯罪被害について取り扱われているものもある。

委員 子どもたちの危険回避能力について、特徴的なものは？

回答 例えば、光文のP23をご覧ください。自分のこととして考えることで、危機回避能力を養う内容になっている。また、他の発行者においても、防災の取扱いをしているものもあり、どの発行者も危機回避能力を養う内容になっている。

委員 がん教育については？

回答 がん教育については、5、6年生の教科書で、すべての発行者で、資料または発展的なものとして扱うようになっている。

【協議・採択】

委員 東書がいいと思う。特に、ステップ1、2、3、4と、主体的な学習を進めることができるような作りになっている。また、パラリンピックについても取り上げられている。

委員 保健の授業内容をしっかりと児童に習得させるには、ワークシートの書き込みがしっかりできる作りになっているのいいと思う。その場合、学研や、特に東書がいいのではと考える。授業の流れとして、児童がじっくり授業を受けた後に、自分の気持ちや感想を書いたり、途中にある手立てを自分で選択したりする要素があるように見受けられた。

委員 生活習慣病や飲酒、喫煙、薬物乱用など、教科書に記載されており、今後、田舎の子でもしっかり学んでいかないといけない問題と考える。児童にとって、わかりやすく、大変な問題だと思わせるような教科書がよいと考える。特に、薬物乱用については、東書がよかったと感じた。

委員 先ほど、他の委員が言われたように、ワークシート形式で子どもたちに書かせるような工夫を各発行者が行っているが、子どもたちの思考の中で、自分の考えをまとめさせることのタイミングがよいのが、学研と東書なのかなと思う。もう一つは、

子どもたちの中で、対人関係で悩むなど、さまざまな心の悩みを抱えている子がいる。そういった心の問題に重きをおいているのは学研なのかなと思った。

委員 先ほど、他の委員が言われたように、4年の時点で男女の性について学習するようだが、私が見たところ、東書の取り上げ方が一番分かりやすいと思った。気になったのは、不登校という言葉がどこの教科書にもないことである。

会長 それでは、学研と東書の二つの発行者で検討するというところでよろしいか？

委員 異議なし。

委員 学研のP16に困った時の相談窓口が記載されているが、東書にもP15に、いろいろな相談窓口という記載がある。扱いは学研の方がよいようである。

委員 さきほど言ったが、メモしたり書いたりすることを考えると、ワークシートのいろいろ書き込めるようになってるのは、圧倒的に東書の方が、書くところがいろいろあって、工夫されていると思った。加えて、直接、教科書に小学生が書き込む場合、東書の紙の方が、小学生が使うえんぴつだったら書き込みやすいと思った。

委員 私が住む町の子どものことだけを考えたら、東書がよいと思った。ただし、睡眠についてしっかり書いてあるのは学研だと思った。どちらかと言えば、東書がいいと思った。

委員 保健の授業時数は非常に少ないので、保健の授業の中だけの指導だけではなく、他教科との関連が大事だと考える。そこで、保健の授業で深めていきながら、他教科との繋がりで考えた時、東書の5、6年生の目次のところに「つなげよう」という欄がある。P4では家庭科と道徳との関係が記載されており、P20では社会科と理科との関係が記載されている。他教科との繋がりを意識しながら作られているかと思われる。東書の方が、教員が指導しやすいのではないかと考える。

会長 では、多数決を採る。東書を選定する方に賛成の方は挙手を。(挙手17名)

それでは、北部採択地区としては、東京書籍を選定することとする。

<道徳>

【質疑応答】

- 委員 学研の研究で、命の教育が取り上げられているとあったが、ほかの発行者ではどうか？
- 回答 どここの発行者においても取り上げられており、重要視されている。
- 事務局 <命について取り上げられている件数>東書18、学図12、教出15、光村18、日文16、光文18、学研18、あかつき18
- 委員 二冊に分かれているのと、一冊のところがあるが、研究の中ではどう考えたか？
- 回答 学図、日文、あかつきに別冊があるが、他者においてもどちらでも同じような授業ができる。
- 委員 命の教育について。いじめ、自殺につながるようなもの、あと規範意識という内容になっているか？
- 回答 情報モラルや、誹謗中傷をしない、規範意識についての内容であり、単なる命は大切だけでは終わっていない。
- 委員 別冊があるところは、書き込みが多くなっていると思う。量的なものは？書き込みにとらえられすぎということはないか？1時間の中での進め方、取り扱いはどうなるか？
- 回答 書くことだけにとらわれるような内容ではないと捉えている。量については各者に違いはあるが、それぞれ工夫がしてあると思われる。
- 委員 この中で、宮崎県に関連する内容はあったか？
- 回答 日文の6年生に口蹄疫の記述がある。光文は補足でついているCD-ROMに城山に関する教材が掲載されている。
- 会長 前回採択されてから、2年しか経っていないが、8者とも教材は同じなのか、変わったところはないのか？
- 回答 価値項目、教材の並びが変わっているところがある。学図は大きく変わっており、教材が増えている。
- 会長 別冊が3者とあったが、前回と同じ出版者が別冊構成にしているのか？
- 回答 把握していない。
- 委員 めあてがまとめられている発行者とそうでないところとの違いは？
- 回答 問題解決学習が導入されているので、子どもたちに、1時間の中で、どういう学習、価値を学ぶのかということをおねらっていると考える。
- 委員 うしろの方に発問の例があるが、多い少ないということを含めて、特徴的なことがあるか。これも前回と変わらないのか？
- 回答 変わらないと思われる。
- 委員 教材配列について、並び方として同じような価値のものをまとめているものと、バラバラになっているところは前回と同じ傾向なのか？
- 回答 そうだと思う。
- 委員 光村には役割演技について取り上げられている。他者はどうか？話し合い活動が多い発行者なのか？

- 回 答 役割演技については、どの発行者にもあるが、特徴的なのは光村。
- 委 員 学校における指導面では、教科書だけでなく掲示の資料なども大事。それは先生方が作ったものが引き継がれていくことになっているのか？
- 回 答 保管場所を決めて引き継いでいっている。

【協議・採択】

- 事務局 参考までに、前回（2年前）の採択時の議事録を配付している。
- 委 員 前回の議事録の紹介はありがたい。研究の先生方も前回の教科書との比較検討をして、大変だったのではないかと思います。今、前回採択された教科書を使って、学校では年間指導計画、授業のノウハウがたまってきているところであるので、光村を継続するほうが良いのではないかと考える。
- 委 員 先ほど他の委員が言われたように、光村から変えない方がいいと思う。前回気が付かなかったけれど、ロールプレイ、役割を演じて話し合うなどがあるんだと改めて気がついた。
- 委 員 いろんな観点が書かれている教科書があるなあと感じる。そんな中で、県内の先生方は真摯に道德教育に向き合っている。逆に別冊（ノート）があると、しばられてしまうと思う。多様な授業ができる教科書と考えると前回選んだ光村などは優れていると思う。特に、役割演技でより深い規範意識、道德性が身につくと考える。そういったことでやはり光村がいいと思う。
- 委 員 他の委員の意見に賛同する。現場の先生にとっても継続性が大事だと思う。
- 会 長 どれくらい変わったところがあるのか。
- 事務局 <前回と変わったところがある件数>東書11、学図48、教出16、光村11、日文25、光文5、学研31、あかつき0
- 委 員 道德でノートをとることの意味を考えてみたが、道德では、自分の思いと友だちとの違いに気づき、考えていくというのが重要。しかし、ノートをとるというのは、「正しい」と思われることを書いてしまう。自分の心で考えて、自分の心で書かないといけないと考えるので、別冊はいらない。あと、子どもたちの主体性や響くものを選びたいので、もっと時間をかけたい。
- 会 長 子どもたちがきづいて、考えられる教科書が良いのではないかという意見もあります。
- 委 員 各者、みんないいところがある。6年生になってくると道德の内容も難しくなってくるが、光村の話し合っただけで考えよう、演じて考えようなど役割演技の部分とか、「ありがとう」というのは声にしないと伝わらないよ、という内容などが6年生で改めて出てくるのがいいと思った。
- 委 員 光村について。最後のところの「先生方へ」というところで、自分を大切にすることと自他を大切にすること、自分と他者を大切にしていこうというコンセプトが6年間貫かれていると思う。学期ごとのまとめ方になっており、目次をみると、学期ごとに振り返りしながらできるようにまとめられている。
- 委 員 光村が一番コンパクトになっている。大きさがコンパクトである。
- 会 長 教科書の重さはどうなっているのか。

事務局 各者の教科書の重さ（g）について、1年生で比較すると、東書266、学図236（376）、教出284、光村270、日文314（424）、光文374、学研332、あかつき250（352）となっている。（ ）内は、別冊を含んだ重さを示している。

会長 そろそろ決を採りたいが。現在使用している光村がいいのではという意見が多いが、いかがか？

委員 異議なし。

会長 それでは、北部採択地区としては、光村を選定することとする。

<英語>

【質疑応答】

- 委員 アルファベットを書く4線を見たときに、間隔が広い教科書と狭い教科書がある。子どもたちにとっては、どちらがいいか。
- 回答 小文字を書くために、基準線と第二線の間を広くしている出版者がある。間隔が狭いと、アルファベットを小文字で書くときに、文字がつぶれてしまう場合がある。そのことや学習障がいのある子どもたちに配慮した工夫であると考え。それぞれの発行者についても、生徒の発達の段階に考慮したものになっていると思う。
- 委員 中学校英語とのつながりは大丈夫か。「書くこと」についてはどうか。
- 回答 どの発行者においても、書く活動の中学校へのつながりは考慮されていると思う。外国語活動のテキストと比べて、「書くこと」については、積極的に書く機会を設けるようになっている。アルファベットでは、母音と子音で成り立っていることに気づかせるようになっている。中学校への書く活動の円滑な接続は、各教科書で工夫がなされている。
- 委員 現在、小学校5・6年生が活用している外国語活動のテキスト「We Can」では4線はどうなっているのか。
- 回答 「We Can」でも4線があり、基準線と第二線の幅は広い。
- 委員 開隆堂の教科書で気になったのだが、発音クリニックという内容などがあり、聞き取りとか発音にポイントを置いている。他社の「聞き取り」や「発音」はどうなっているのか。小学校英語でここまでやるのか。発音とかにあまりこだわりすぎると、英語を嫌いになってしまうことも考えられるのではないか。
- 回答 開隆堂以外では、「リズムに合わせて発音しよう」というコーナーがある教科書もある。開隆堂の発音クリニックは付録扱いだと思う。発音についてだが、正しい発音ができないと評価が低いということではなく、正しい発音に慣れ親しむことがねらいである。
- 委員 特に「書くこと」の学習で、チラシやパンフレットを作る学習活動が発展的に取り上げられている教科書があるが、各発行者とも、そのような内容が取り上げられているか。
- 回答 求めるレベルの差はあるが、各発行者とも単元末等で「書くこと」を取り上げている。ただし、自分で思考して、ひねり出して書くのではなく、決められた内容から選択させたり、文の途中から書くようになっていたりしている。
- 委員 東京書籍の教科書には、別冊がついている。専門委員の中で、別冊についての議論があったのか。メリットやデメリットがあれば教えてほしい。
- 回答 7社のうちで別冊があるのは、東京書籍のみである。他の発行者は、中に盛り込んでいる。このことによる利点は現時点ではわからない。
- 委員 英語では「聞くこと」が大事である。CDを使ったり、QRコードがあったりする教科書もあれば、先生の発音を聞きなさいという表記してある教科書もある。それぞれの違いは何か。
- 回答 QRコードは7社全てで使用されている。アクセントや発音については、小学校の

学習では求めないが、CDやQRコードを活用して、ネイティブの発音に触れさせる取組だと思う。

委員 教科書の中の登場人物について、アフリカ系、アジア系、ヒスパニック系などの地域の偏りはあるか。

回答 そこまでの確認はできていないが、各者、オリンピックを取り上げたり、世界を旅する設定をしたりして、偏りなく取り扱っていると感じた。

委員 何のために小学校から英語を学ぶかという必要性について、各発行者は、どのような提示をされているか。東京書籍では、「英語がわかると世界が広がるよ」と示してある。

回答 東京書籍では、世界の広がり、日本とのつながりを意識しながら、成長を促すというつくりになっている。他の発行者も希望を持たせるという流れになっている。

委員 巻末にカードがついているが、学校図書にはない。役に立ちそうだなとか、そういったことは議論にならなかったか。

回答 そこまでの議論はできていない。

委員 各教科書の「聞くこと」「書くこと」「読むこと」「話すこと」について、専門委員の先生たちが研究されたときに、バランス的なことなど、感じられたことはないか。

回答 「聞くこと」などの4つの領域については、どの発行者もバランスを取ってあると考える。QRコードの活用も入ってきているが、先生と子ども、子どもと子どもが目と目を合わせて、コミュニケーションを図る、そんな構成になっている。

委員 学校図書のみ、5、6年生ではなく、1、2となっているのはなぜか。

回答 地域や生徒の実態に応じて扱えるようにするためと考える。5・6年の2年間を通して1、2を学習できるようにしているのではないかと思う。

委員 学習達成目標である「Can Doリスト」の取り扱いに、各教科書で差がある。全ての教科書において「Can Doリスト」は位置付けられているか。

回答 聞く場面では、「聞くこと」についての力を、小出しにして掲載している教科書もある。まとめて示すか、ばらして示しているかの違いはあるが、全ての教科書に「Can Doリスト」はある。

委員 現在、子どもたちは「We Can」と「Let's Try」を使っている。今回、内容ががらりと変わるようになるが、「We Can」などの流れを組んだ内容になっているか。

回答 全ての教科書において、流れを組んだ内容になっている。

【協議・採択】

委員 学校図書では、歌で英語に触れられるのがいい。光村図書には、ページに1個ずつQRコードがある。

委員 QRコードは授業中に使うのだろうか。なぜ英語を学ぶのかということが大事である。東京書籍の最初にはきちんと、英語を学ぶ目的が載っているのがいいと思う。東京書籍の別冊資料はどうか。辞書的に使うのか。開隆堂の発音の付録が小学生には難しいのではないかと思う。

委員 現在のピクチャーカードが使えなくなるので、新たなカードの準備が楽なのがいい。

三省堂と学校図書のピクチャーカードは小さく、少ないので使いにくいのではないかと考える。

委員 東京書籍がいいのではと考える。教室での英語活動（自己紹介など）があるので、子どもたちは会話を通して学んでいくのだろう。ただし、4線が広すぎるのが気になる。4線は開隆堂ぐらいがいい気がする。

委員 啓林館は、世界に目を向けるという点が少ないように感じる。開隆堂や東京書籍には、世界に関することがたくさん載っている。開隆堂はバランスがいい。授業の準備がしやすいのは開隆堂なのではないか？

委員 「C a n D oリスト」の分かりやすさ、カードの使いやすさなどを考えると、東京書籍、開隆堂、光村図書ではないか。

委員 東京書籍は、別冊の中に「C a n D oリスト」があり、2学年分でまとめてある。

委員 中学校の英語とは違う。中・高校と英語を学習しても、英語が話せない人がたくさんいることを考えると、中学校と同じようなものではよくないのではないか。やはり英語って楽しいなと思えるものではなければならぬと思う。そういう視点では、教育出版、三省堂の教科書が、絵などが多くて楽しそうと思えた。

会長 今までの意見から、啓林館以外で考えることでよろしいか。

委員 異議なし。

会長 では、啓林館以外の6者について議論を続ける。他にマイナスの意見が出たのは、三省堂と学校図書、光村図書であるが意見を出してほしい。

委員 東京書籍の題名「N e w H o r i z e n」という名前は、50年以上ある名前と思う。教科書を採択するのにALTの先生の意見は聞けないのか。別冊はすごくいいと思う。

事務局 採択協議会の委員以外からは聞けない。

委員 三省堂の色が薄い気がする。6年生のP78あたりをみると、コントラストが低い気がする。他者の方が使いやすい。

委員 光村図書5年生のP50を見ると、ここで、つまずいたら、英語が嫌いになるのではないかと感じる。6年生も英文が多い気がする。もう少し、小学生らしい他者がいいのでは。

委員 他の委員が言われたように、三省堂や学校図書は、ピクチャーカードなどが使いにくいと思う。

会長 では、ここで、三省堂、学校図書、光村図書を採択候補から外し、東京書籍、開隆堂、教育出版で検討を進めることにするがよいか。

委員 異議なし。

会長 では、三者について、意見を引き続きお願いしたい。

委員 「W e C a n」等と同じようなつくりで、子どもたちの意欲を引き出すのに適したのは、教育出版がいいような気がする。

委員 自分も英語が嫌いだった。やらされ感が強かった。楽しそうなのは教育出版かなと思う。しかし、書くところが少ないような気がする。そういう意味では開隆堂は最初、楽しそうで後半書くようになっていく。東京書籍は、さすがに教科書として王道かなと思う。私は東京書籍か、開隆堂かなと思う。教育出版は総合的にもの足り

ない。

委員 教育出版は、確かに楽しそう。書くところが少ないと言うが、6年生になると書くところがかなり増えてきて、逆に英語が嫌にならないかという心配もする。総合的には、やはり東京書籍か、開隆堂だと思う。

会長 では、教育出版については、採択対象から外すということによろしいか。

委員 異議なし。

会長 2者について、議論したいが、他に意見はないか。

委員 東京書籍、開隆堂、どちらもいいと思うが、開隆堂は、どうしても6年生の付録の発音クリニックが気になる。

委員 最初が大事かなと思う。逆に発音を大事にしてもいいのではないか。開隆堂がいい。

委員 QRコードは、開隆堂の方がページごとについている。これを教室でどう使うのかが分からない。授業でやったことを家で振り返るならいいけど、そういう環境にならない子どもは家でどうするのだろうかとも思う。

事務局 学校でやるとすれば、大型テレビに映し出し、みんなで見るとか、タブレットで見ることになると思う。

会長 他に意見がないようだが、最終の決を採りたい。議論が分かれているので多数決としたい。東京書籍を選定する方に賛成の方は挙手を。(挙手8名)

開隆堂に賛成の方は挙手を。(挙手12名)

それでは、北部採択地区としては、開隆堂を選定することとする。

3 閉会行事

【事務局より】

- 本日の選定結果を各市町村教育委員会へ持ち帰り、定例または臨時の教育委員会へ提案し、採択を行う必要がある。また、その結果を7月31日までに協議会事務局へ報告していただく。
- 万が一、各市町村教育委員会で本協議会で選定した教科書が採択に至らなかった場合は、再度協議会を開催し協議を行うことになるので、早めに事務局へ連絡をお願いしたい。